

## Moodle ドラッグ&ドロップイメージ問題変換ツール

### Quiz Translator Drag and drop onto image の使い方

#### 1. Quiz Translator Drag and drop onto image (QT\_DDImage) の起動

1. QT\_DDImage.exe をダブルクリックして起動させます。
2. 初回のみ、次のダイアログが表示されます。「はい」をクリックしてください。



3. アプリケーションの画面が表示されます。



-  オプションの設定画面を開きます。
-  オンライン・ヘルプを表示します。
-  バージョンなどを表示します。

## 2. Word ファイルから XML 変換

1. 作成したドラッグ&ドロップ問題ファイル (Word) を QT\_DDImage 内にドラッグ&ドロップします。ただし、Word ファイルには、1 問記載することができません。



2. Moodle の XML 形式に変換されたファイルが自動的に作成され、元ファイルと同じ場所に保存されます。

### 2-1 作成元ファイルと作成されるファイル

QT\_DDImage 内にドラッグ&ドロップすると、XML ファイル及びビューア表示フォルダが作成されます。

#### 【Word ファイルから XML ファイルの変換例】



元ファイル : w-サンプル.docx (ドラッグ&ドロップ問題の Word ファイル)  
作成ファイル等 : w-サンプル.xml (Moodle XML 形式ファイル)  
w-サンプル-View (ビューア表示ファイルフォルダ)

#### ※ 注意事項

QT\_DDImage による Word ファイルの変換を行う際、開かれている Word ファイルがあると、自動的に閉じられるので注意してください。

3. 複数の問題一括で半関する場合、複数のファイルをフォルダに保存し、フォルダを QT\_DDImage 内にドラッグ&ドロップします。



【Word ファイルから XML ファイルの変換例】



#### 4. 設定情報の表示

オプション設定により、小テストの問題を Moodle に掲載した状態を表示するビューア機能にて確認することができます。

また、ドラッグのタイプをテキストにすることもできます。

#### 4-1 HTML ビューア機能での閲覧画面

HTML ビューア画面で、小テストの問題を Moodle に掲載した状態を表示します。

ドラッグ&ドロップ (画像)

ドラッグ&ドロップ (テキスト)

### 3. Word 形式データの書式

行頭の空白、タブは取り除いて処理します。

制御記号の大文字・小文字および半角・全角は原則として区別しません。

行頭に「//」のある行はコメント行です。

#### 3-1 問題バンクのカテゴリの指定

Word 文書の先頭に「\$\$/」とカテゴリ名を記述すると、Moodle にアップデートした時に、指定した問題バンクのカテゴリに小テスト問題を格納させることができます。

【カテゴリ指定時の記述例】

\$\$/ドラッグ&ドロップのデフォルト

【カテゴリ指定時の XML 変換例】

```
<question type="category">
  <category>
    <text>$$course$/ドラッグ&ドロップのデフォルト</text>
  </category>
</question>
```

#### 3-2 問題の記述

行頭に「問題」がある行以降を問題とみなします。

問題は、1つの Word ファイルにつき 1 問題です。

複数の問題を扱う場合は、フォルダに、問題数分の Word ファイルを格納します。

#### 3-3 問題名の記述

問題の開始行のテキストが問題名になります。

問題名の「問題」以降を、Moodle の XML ファイルでの `question: number` になります。

「問題」以降のテキストが数値でない場合は、問題の出現順番号が `question: number` になります。

#### 3-4 問題文

問題名の次の行から、Word 文書の最終行までが問題となります。

コメントおよび末尾の空白行は無視されます。

【記述例】

問題 1

化学反応に合う化合物名を適当な位置にドラッグさせなさい。

#### 3-5 全般に対するフィードバック

問題文の後ろから次の問題の記述が始まる前で、行頭が [[ で始まる行から,]] が出現するまでの間を全般に対するフィードバックとします。(全般のフィードバックは記入しなくてもかまいません。)

画像の場合は、1行1画像として、「文字の折り返し(W)」を行内として貼り付けます。

## 【記述例】

[[  
ハロゲン化, ニトロ化, スルホン化, Friedel-Crafts 反応<sup>4</sup>



]]<sup>4</sup>

全体に対するフィードバック: ハロゲン化, ニトロ化, スルホン化, Friedel-Crafts 反応



ビューアー表示例

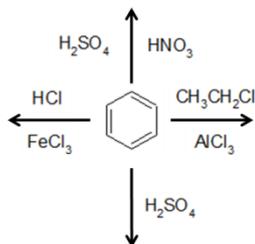
### 3-6 問題画像の貼り付け

問題となる背景画像を, 全般に対するフィードバックの次の行以降に, 「文字の折り返し(W)」を前面として貼り付けます。

貼り付ける画像高さは, 400PX 以下にしてください。

背景画像は, 改行マークが無いスペースに貼り付けてください。

#### 【問題画像の貼り付け例】



### 3-7 選択肢画像の貼り付け

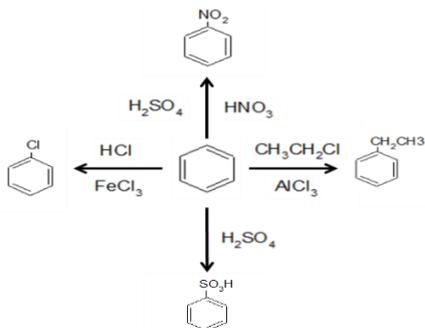
選択肢となる画像又はテキストボックスを, 背景画像の上に, 「文字の折り返し(W)」を前面として貼り付けます。

選択肢画像は, 高さ 100PX 以下, 横 150PX 以下としてください。

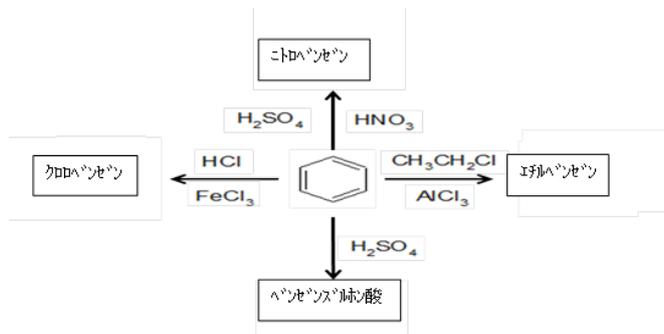
選択肢画像は, 背景画像内に収まるよう貼り付けてください。

選択肢番号は, 選択肢を貼り付けた順番となります。

#### 【選択肢画像の貼り付け例】



選択肢が画像の例



選択肢がテキストの例

### 3-8 ダミーリストの追加

選択肢の候補リストを作成する際に、すべての正答を合わせたリストに任意（ダミー）リストを追加することができます。

画像の場合は、各行に1画像を貼りすけます。画像は、「文字の折り返し(W)」を行内として貼り付けます。テキストの場合は行頭に「++」を記述後、選択肢を記述します。

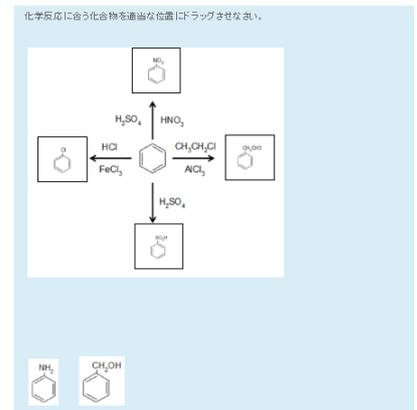
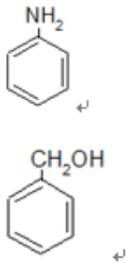
また、オプションで区切り記号を選択した場合、指定した区切り記号で区切って選択肢を記述することができます。

#### 【記述例】

ダミーリスト（画像）記述例

##### 問題 1

化学反応に合う化合物を適切な位置にドラッグさせなさい。



ビューア表示例

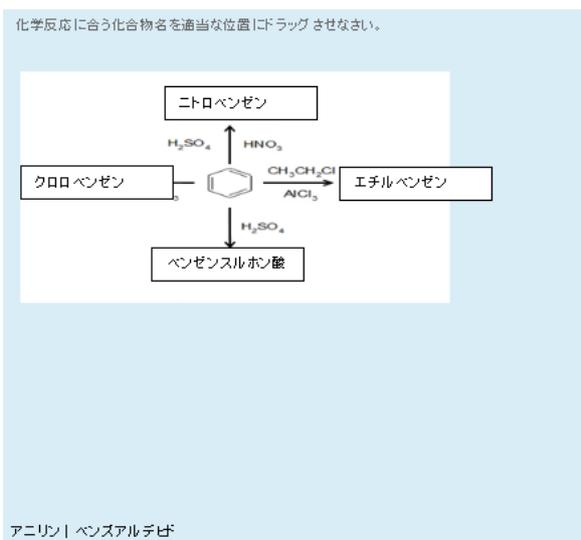
#### 【記述例】

ダミーリスト（テキスト）記述例

##### 問題 1

化学反応に合う化合物を適切な位置にドラッグさせなさい。

++ アニリン | プロモベンゼン



ビューア表示例

## 5. オプションの設定

※「初期値に戻す」を選ぶと、オプションの設定を最初の状態に戻すことができます。

### ① デフォルト評点

最大評点のデフォルト値を指定します。

### ② ペナルティ

ペナルティの値を選択して指定します。

ペナルティは、「複数受験インタラクティブ」または「アダプティブモード」動作を使用して問題を実行する場合、学生が不正解の後に再度回答する場合の問題評点の減点の割合を示します。

### ③ 問題の受験後にドラッグアイテムをシャッフルする

設問のシャッフルを選択します。

### ④ 問題終了後、正答数を表示する

問題の受験後、正答数を「表示する」または「表示しない」を指定します。

### ⑤ ダミーリストの区切り文字

ダミーリストの区切り文字を選択します。

区切り文字は、「|」、「|」、「,」、「;」、「:」、「/」

⑥ 画像選択肢、テキスト選択肢をグループ化

画像選択肢とテキスト選択肢分けてグループ化することができます。

画像選択肢と、テキスト選択肢が混在すると、それぞれのドラッグ枠が、画像サイズ又はテキストサイズの最大高さ又は、最大横幅となります。グループ化した場合は、画像は画像サイズの最大で、テキストはテキストのサイズの最大で、ドロップ枠が統一されます。

⑦ フォントスタイル

文字飾りの変換を有効に「する」または「しない」を指定します。

対応している文字飾り：下付き，上付き，斜体，太字，下線，取り消し線，文字の色，文字の背景色  
ただし，文字色蛍光ペンで装飾を施した範囲のフォントスタイル変換はできません。

⑧ <> を&gt; &lt;に置換

「<」，「>」をエスケープ文字への置換を指定します。

⑨ 総合フィードバックの使用

総合フィードバックを「使用する」または「しない」を指定します。

⑩ 正解に対するフィードバック

デフォルトフィードバックは「正解です」

⑪ 部分的に正しい解答に対する総合フィードバック

デフォルトフィードバックは「一部間違っています」

⑫ 不正解に対する総合フィードバック

デフォルトフィードバックは「間違っています」

⑬ HTML ファイルの作成

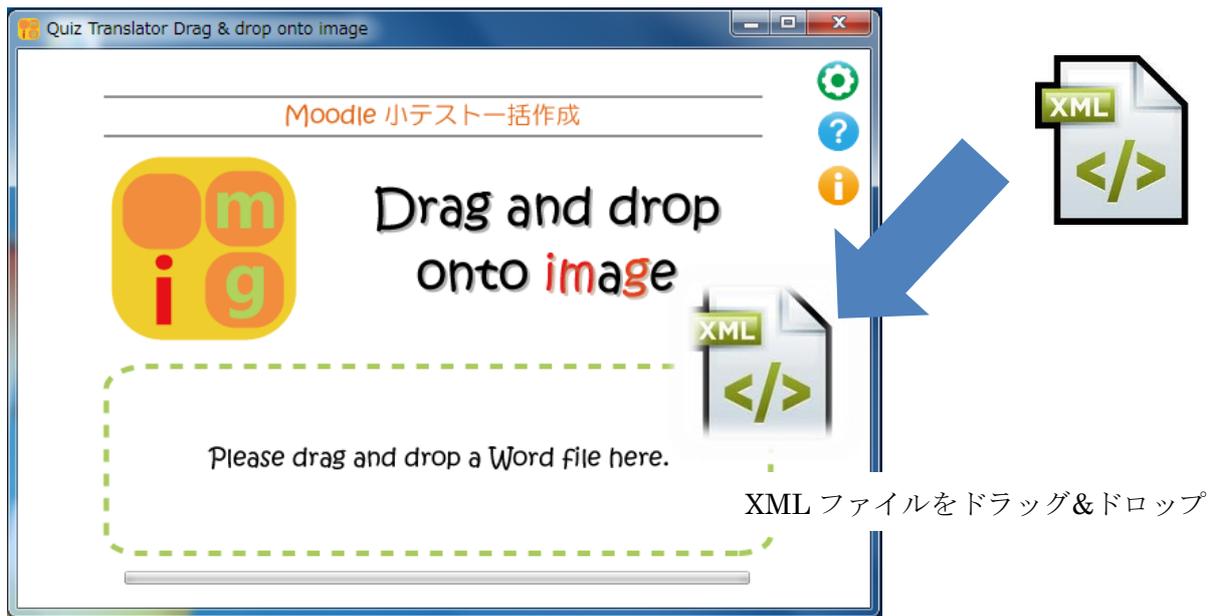
変換終了後に、小テストの問題を Moodle に掲載した状態を疑似的に再現して表示するための HTML ファイルを同時に「作成する」または「作成しない」を指定します。

⑭ Web ブラウザーの起動

変換終了後に Web ブラウザーを起動して、作成した HTML ファイルを「表示する」または「表示しない」を指定します。

## 6. XML から Word ファイルの変換

1. Moodle XML ファイルを QT\_DDImage 内にドラッグ&ドロップします。



2. Word ファイルが自動的に作成され、元ファイルと同じ場所に保存されます（画像以外のマルチメディアファイルは別ファイルとして作成されます）。

### 【XML ファイルから Word ファイルの変換例】



元ファイル：w-サンプル.xml (Moodle XML 形式ファイル)  
作成ファイル：w-サンプル.docx (Word 穴埋め問題ファイル)

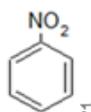
### 【XML ファイルの内容(変換前)】

```
<quiz>
<!-- question: 2 化合物名 -->
<question type="ddimageortext">
  <name>
    <text>問題2 化合物名</text>
  </name>
  <questiontext format="html">
    <text><p>化学反応に合う化合物を適当な位置にドラッグさせなさい。</p></text>
  </questiontext>
  <generalfeedback format="html">
    <text>ハロゲン化, ニトロ化, スルホン化, Friedel-Crafts反応</text>
  </generalfeedback>
  <defaultgrade>4.000000</defaultgrade>
  <penalty>0.3333333</penalty>
  <hidden>0</hidden>
  <shuffleanswers/>
  <correctfeedback format="html">
    <text/>
  </correctfeedback>
  <partiallycorrectfeedback format="html">
    <text/>
  </partiallycorrectfeedback>
  <incorrectfeedback format="html">
    <text/>
  </incorrectfeedback>
  <file name="fig01_1.png"
    encoding="base64">IVBORw0KGgoAAAANSUHEUgAAAXoAAAFVCAyAAADhWirzAAAAAXN
  </drag>
  <no>1</no>
  <text>fig1</text>
  <draggroup>1</draggroup>
  <file name="fig01_2.png"
    encoding="base64">IVBORw0KGgoAAAANSUHEUgAAACAAAA5CAYAAACrtjtAAAAAXN
  </drag>
  <no>5</no>
  <text>fig5</text>
  <draggroup>1</draggroup>
  <file name="dfig01-1.png"
    encoding="base64">IVBORw0KGgoAAAANSUHEUgAAACBAAAA+CAYAAAC7RUKSAAAAAXN
  </drag>
  <drop>
    <no>1</no>
    <choice>1</choice>
    <xleft>25</xleft>
    <ytop>113</ytop>
  </drop>
  <drop>
    <text/>
    <no>2</no>
    <choice>2</choice>
    <xleft>145</xleft>
    <ytop>9</ytop>
  </drop>
  <drop>
    <text/>
    <no>3</no>
    <choice>3</choice>
    <xleft>273</xleft>
    <ytop>122</ytop>
  </drop>
  <drop>
    <text/>
    <no>4</no>
    <choice>4</choice>
    <xleft>146</xleft>
    <ytop>242</ytop>
  </drop>
</question>
</quiz>
```

【Word ファイルの内容 (変換後)】

問題2 化合物名

化学反応に合う化合物を適当な位置にドラッグさせなさい。



↓

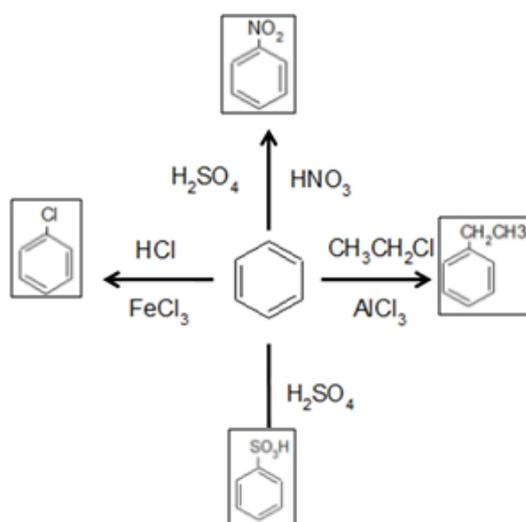
[[

ハロゲン化, ニトロ化, スルホン化, Friedel-Crafts 反応

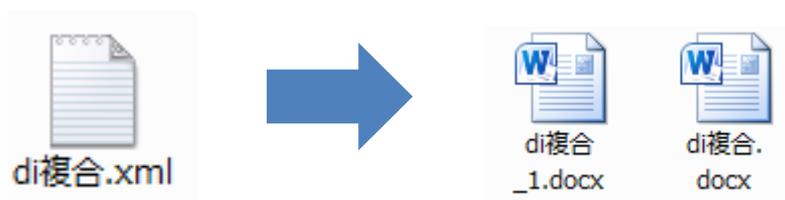
]]

↓

↓



【複数問題の XML ファイルから XML ファイルの変換例】



XML に問題が複数ある場合、1 番目のファイル名は、XML ファイル名となり、2 番名以降の問題は、XML ファイル名に整理番号が（1 番から）付加されます。